

科目名	国際経済・金融と企業 Business in Global Economy & Finance		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・木・4 限	秋・木・5 限	-	-
担当教員名	渡辺 喜宏			
<p><講義の概要と目的></p> <p>1) 将来の企業経営幹部・行政官として国際経済・産業・金融の動向と枠組みを理解する。</p> <p>2) 上記の立場で、近年頻発する通貨・金融危機と国際経済の変動を理解し企業経営へのインパクト、事業投資機会と種々のリスク・軽減策を理解する。</p> <p>3) 経営幹部として最適海外業務戦略と行政官として企業をサポートする政策立案の着眼点を探る。</p> <p>4) 日本企業の課題と行政からみた政策課題—海外事業投資について議論する。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 週目 : 国際経済・産業・金融の枠組み —事業経営の場となる国際・国内市場の枠組みを理解する</p> <p>2 週目 : 企業経営幹部として経済環境の把握・着眼点 —経営者としての経済の把握・着眼点を探る</p> <p>3 週目 : 外部資金調達先としての金融機関 —金融機関を取り巻く環境と規制を理解する</p> <p>4 週目 : 国際収支と外国為替相場決定理論 —国際取引交易条件を決定する通貨価値の変動への理解を深める</p> <p>5 週目 : 国際通貨制度 —国際通貨価値の安定と柔軟性を支える国際制度・機構の現状を御理解する</p> <p>6 週目 : 頻発する金融・経済危機の原因を探る —伝統金融とイスラム金融</p> <p>7 週目 : 欧州経済と金融 —国際経済の不安要因である EU の現状を理解する</p> <p>8 週目 : 基軸通貨国アメリカと米ドル —日本経済に最も大きい影響を持つアメリカの通貨ドルの役割</p> <p>9 週目 : 中国経済とその経済戦略 —転換期にある中国と日本企業</p> <p>10 週目 : インドと日本 —将来市場として日本企業に最も期待の高いインドの現実</p> <p>11 週目 : アセアン諸国・経済共同体 とその課題 —日本企業の進出が早期に進んだアセアン諸国と経済共同体の現状</p> <p>12 週目 : 日本企業の海外事業展開 —企業の海外進出の現実</p> <p>13 週目 : 日本企業海外展開に求める人材 —日本企業が必要とする人材とその育成課題</p> <p>14 週目 : 進出企業の事業戦略とその事例—インフラ事業他での課題 —具体的なケースを研究する</p>				

15 週目：進出戦略立案と発表

－受講生による企業の海外進出ケーススタディ課題発表

<講義の進め方>

- ・講義スライドを SNS にアップロードし、受講生の意見を求める。
- ・14 週・15 週においては、ケーススタディ課題に、グループ或いは単独で回答し発表する。

<教科書及び教材> 講師の用意する PP スライドと資料

<参考書>

- ・イスラム銀行とイスラム金融－渡辺喜宏・PHP 出版
- ・国際通貨研究所ウェブサイト <http://www.iima.or.jp>
- ・国際金融入門－小川英治著・日経文庫
- ・幻想の東アジア通貨統合－西村陽造・日本経済新聞出版社
- ・世界経済は通貨が動かす－行天豊雄・PHP 出版

<成績評価方法> 講義での意見発表・質疑 (50%)・課題へのプレゼンテーション (50%)

<履修条件> 出席条件 70%以上

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー> 木曜午後

<その他> 特になし。